

光葉同窓会メールマガジン

<2025年4月号>



214号 2025.04.01 配信

真冬と初夏の天候を行きつ戻りつしながら4月を迎えました。春の花が咲き誇るキャンパスには全国から新入生が入学してきました。女子大学の中でトップクラスの評判を得ている本学ですが、学生一人一人が充実した学生生活を送れますように願っています。

8号館にある光葉同窓会の掲示板で、この1年に開催された支部会の様子をホームページから引用して展示し紹介しました。今年度の支部会開催予定も次々と届いています。学内や各地で卒業生の交流が深まっていくことでしょう。時折、同窓会のホームページをぜひご覧ください。 [昭和女子大学 光葉同窓会](#) (ホームページ) (常任委員 山口澄子)

◇光葉同窓会入会式

3月16日、人見記念講堂において2024年度学位記並びに卒業証書授与が午前と午後に分けて挙行されました。

引き続き、第2緞帳「光葉の大樹」前で光葉同窓会入会式を行いました。金子朝子会長から歓迎の挨拶、卒業生代表が入会のことばを述べました。また、各学科から選出された60名の新幹事のお名前を石川京子・大橋きょう子両副会長が読み上げ、紹介しました。ロビーには31支部から届いた祝電を展示し、参列された皆様にご覧いただきました。



入会式。第2緞帳の前で入会のことばを述べる卒業生代表(左)



卒業式後に祝電を見る卒業生



◇第52回光葉同窓会総会・懇親会のご案内

日時：2025年5月18日(日) 11時～14時 場所：学園本部館3階 大会議室

詳細は同窓会報4月発行の104号3面に掲載しています。ぜひご覧ください。

4月21日(月)までに、会報と同封の払込取扱票にてお振込みください。

事務局で、会費3,500円の入金が確認できた際に出席の申込となります。

広げよう光の葉

中村 玲季(なかむらたまき)さん

2025年3月 国際学科卒業

私を成長させてくれた昭和女子大学

昭和女子大学では、国際学部国際学科に所属し中国語を専攻していました。卒業後、大学入学時に将来やってみたい仕事の一つとして掲げていた、グランドスタッフとして成田空港で働きます。

光葉同窓会の支部が学生アンバサダーを募集し、学生が現在の昭和女子大学について同窓生の皆さまに説明する機会があることを知りました。私は2024年に千葉県支部の学生アンバサダーに応募し、参加させていただきました。応募の理由は、私自身を大いに成長させてくれた昭和女子大学の学び・国際交流・課外活動の魅力を多くの人に伝えたいという思いがあったためです。

大学入学時、何かに積極的に挑戦するという漠然とした目標を持っておりました。高校生までは、授業でも文化祭などの決め事でも全く発言することなく周りに合わせてばかりでしたことから、大学ではそんな自分を変えたいと思っていました。入学後、学生ポータルサイトUPSHOWAや学内に掲示されるチラシを入念にチェックし、国際交流・留学・プロジェクト活動、学寮委員、その他課外活動を楽しみ、好奇心が旺盛な私はさまざまな経験を積むことができました。豊富な挑戦の機会を提供してくれる昭和女子大学での学びを通して、私はチームの中で仲間のことを尊重しながらも自分の意見をしっかりと持ち、発信することができるようになりました。また、地域活性化のプロジェクト活動では、山形県鶴岡市や佐賀県有田町と関わらせていただき、素敵な場所と人々に出会いました。プロジェクト活動でできたご縁は、大学生活を飛び越えてこの先も永く大切にしていきたいと強く思います。このようなご縁に恵まれることも、昭和女子大学に入学していなければ得られることはなかったと思うと、本当にこの大学に入学してよかった！です。



ビジネスコンテスト(ジャパン・ツーリズム・アワード)受賞

千葉県支部会では、これらのことをパワーポイントにまとめて紹介させていただきました。「今はこんなことになっているんですね」「私のときはこうでした」と話しかけていただき、皆さまと話が盛り上がりました。ここでの繋がりで、秋桜祭では私自身が出店したブースに千葉県支部の皆さまや卒業生がお越しくくださったことも大変うれしい思い出となりました。

これから社会人として、仕事で目標を持ちながら楽しく勤めつつ、社内の課外活動にも参加したり、プロジェクト活動で関わった地域の方々と何かを作りあげたりと、昭和女子大学での学びをしっかりと活かしていきたいです。

また、光葉同窓会の幹事もさせていただくこととなりました。昭和女子大学との繋がりをより多くの卒業生が大切にしていけるようなサポートを少しでもできるように努めてまいります。【End】